

補足資料
平成21年11月10日

2010年3月期第2四半期 決算説明会

株式会社 鳥羽洋行

本プレゼンテーション中の将来の見通しにつきましては、当社の判断によるものであり、経済情勢、市場動向、税制や諸制度の変更等により、大きく変化しうるものであります。従いまして、その内容につきましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本プレゼンテーションは、投資を勧める目的のものではありません。



. 2010年3月期 上期決算概況



当期の経営環境について

【経済全体の流れ】

- 昨年来の世界同時不況により、わが国においても雇用不安、個人消費及び民間需要の低迷を招いた。
- エコカー減税、エコポイントなどの政府の総合経済対策により、関連業界には一定の効果はみられるものの、旺盛な新規設備投資需要にまでは至っていない。
- 当社取引先の一部には底打ち感が出ているところもあるが、全体として回復基調に確実に入ったとは言えない。

【当社が行ったこと】

- 新規需要の創造
 - 新エネルギー関連企業の開拓
 - 既存取引先の深耕
 - 三品への攻略
- コスト削減
 - 間接費用(広告宣伝費、通信費等)の徹底削減
 - 人件費削減(役員報酬の減額)

2010年3月期上期の概況

(単位:百万円・%)

	09年3月期 上期	10年3月期 上期	前期比 増減率	10年3月期 通期予想	前期比 増減率 (通期)
売上高	11,976	4,881	59.2	10,500	46.1
営業利益	867	141	—	250	—
経常利益	931	101	—	200	—
四半期純利益 (当期純利益)	556	137	—	250	—
売上総利益率	16.1	15.1	—	15.0	—

- 制御機器、FA機器、産業機器ともに、前期実績を大幅に下回る。
- 販管費は前期比約17%の削減。
- 当期においては、営業利益、経常利益、純利益ともに赤字計上。

売上高及び売上総利益の推移(四半期毎)

単位:百万円

7,000

6,000

5,000

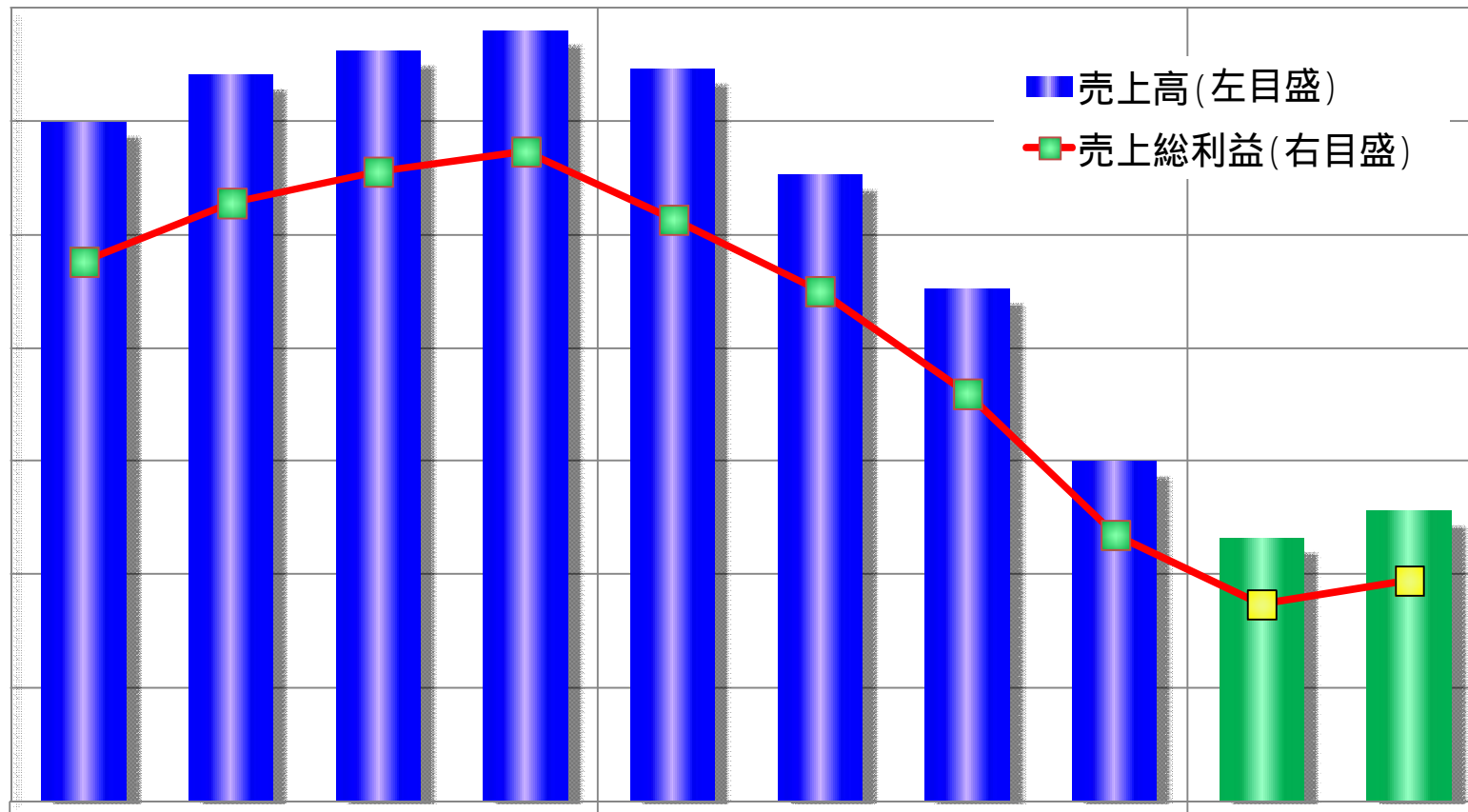
4,000

3,000

2,000

1,000

0



1Q

2Q

3Q

4Q

1Q

2Q

3Q

4Q

1Q

2Q

08年3月期

09年3月期

10年3月期

単位:百万円

1,400

1,200

1,000

800

600

400

200

0

■ 売上高(左目盛)

■ 売上総利益(右目盛)

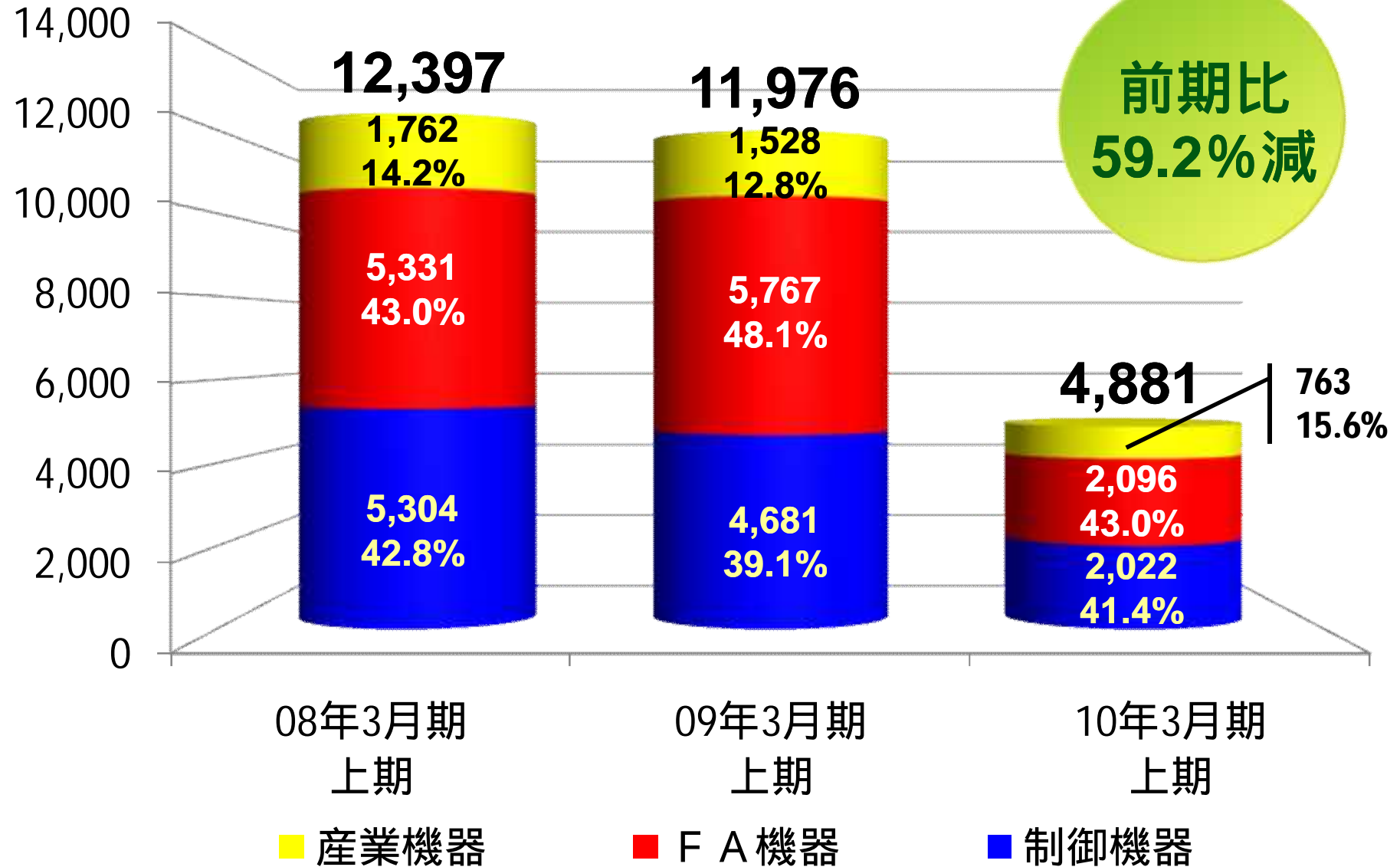


. 2010年3月期 上期決算詳細分析

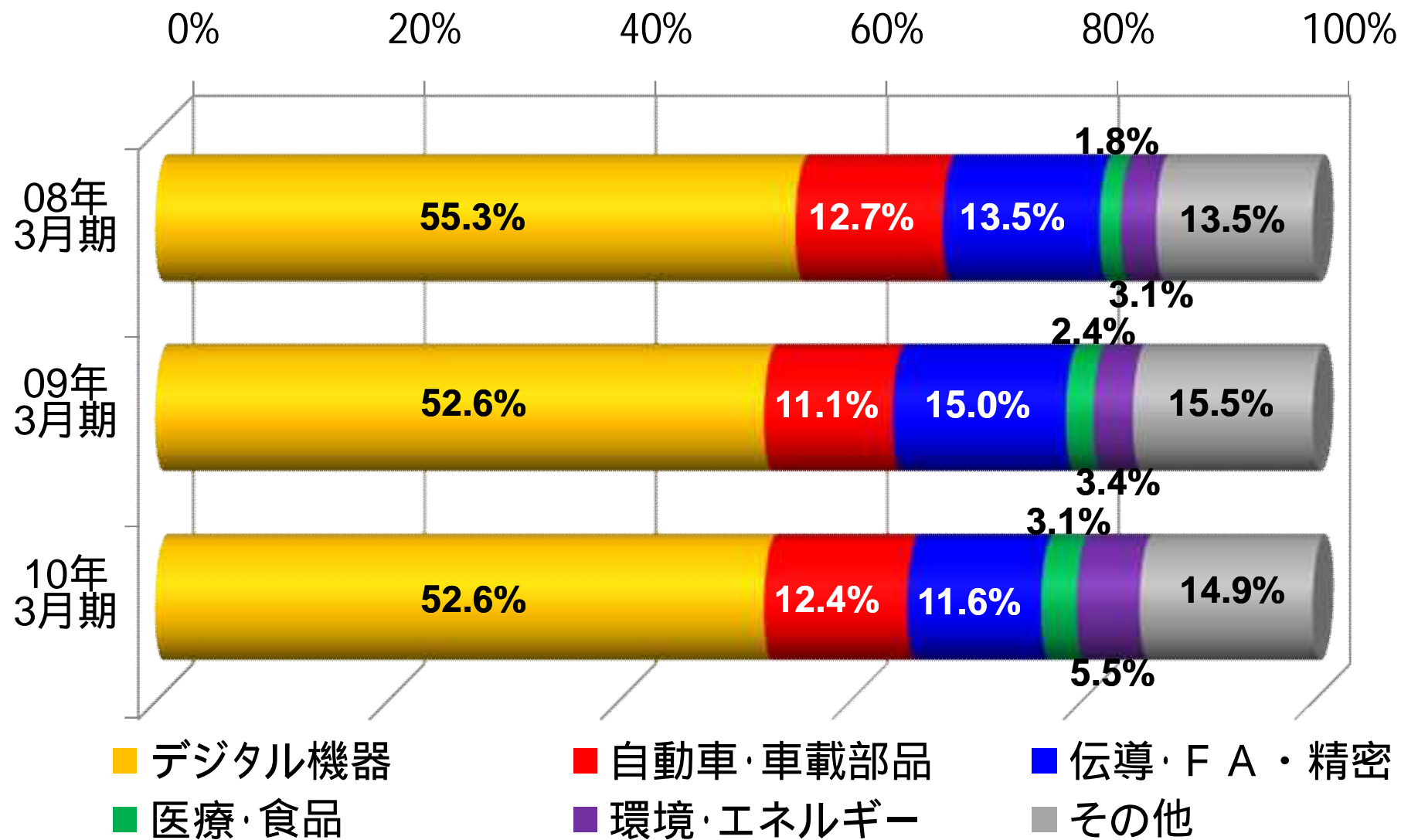


部門別売上高及び占有率(上期3期比較)

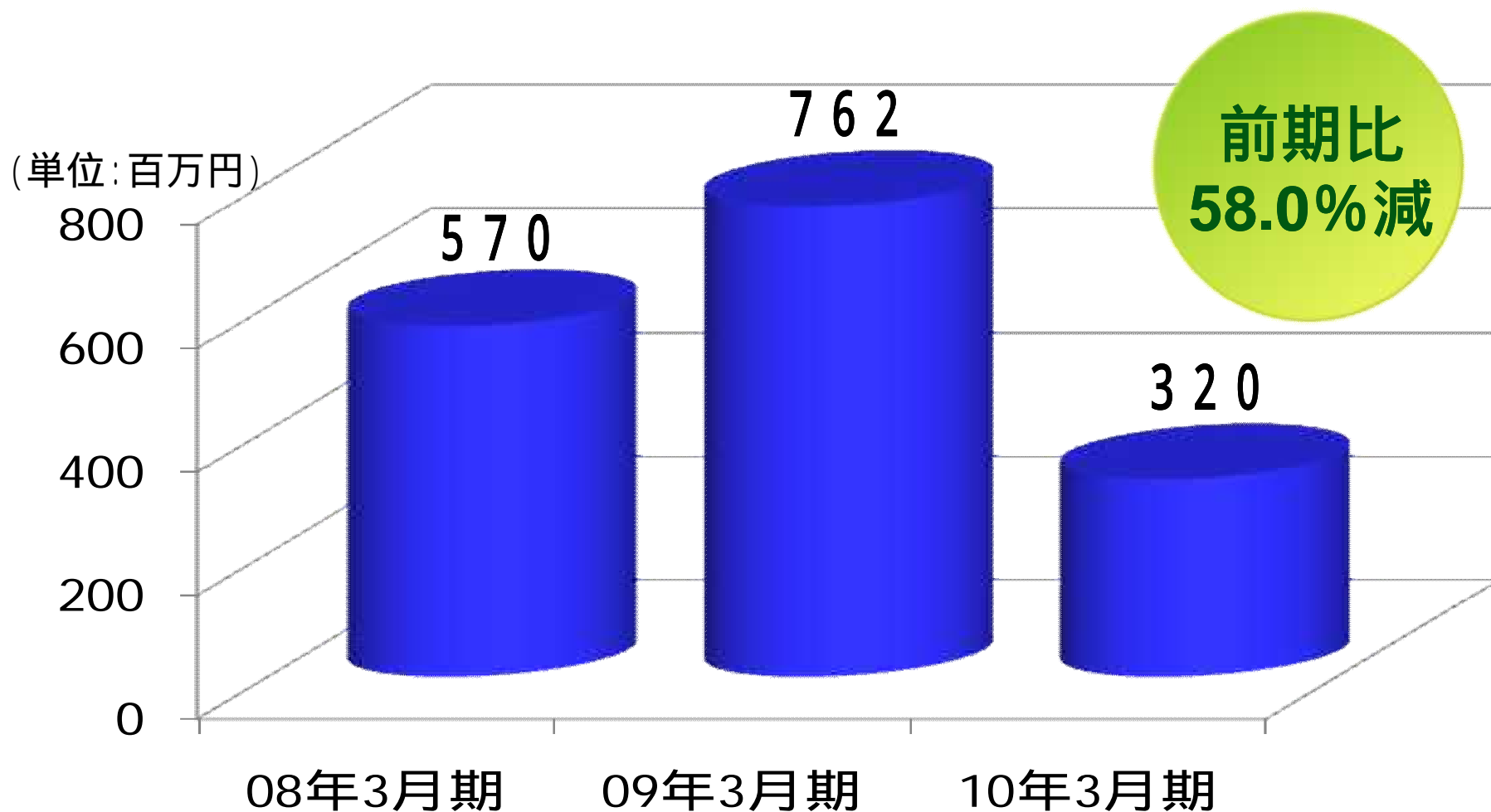
(単位:百万円)



業種別売上高占有率

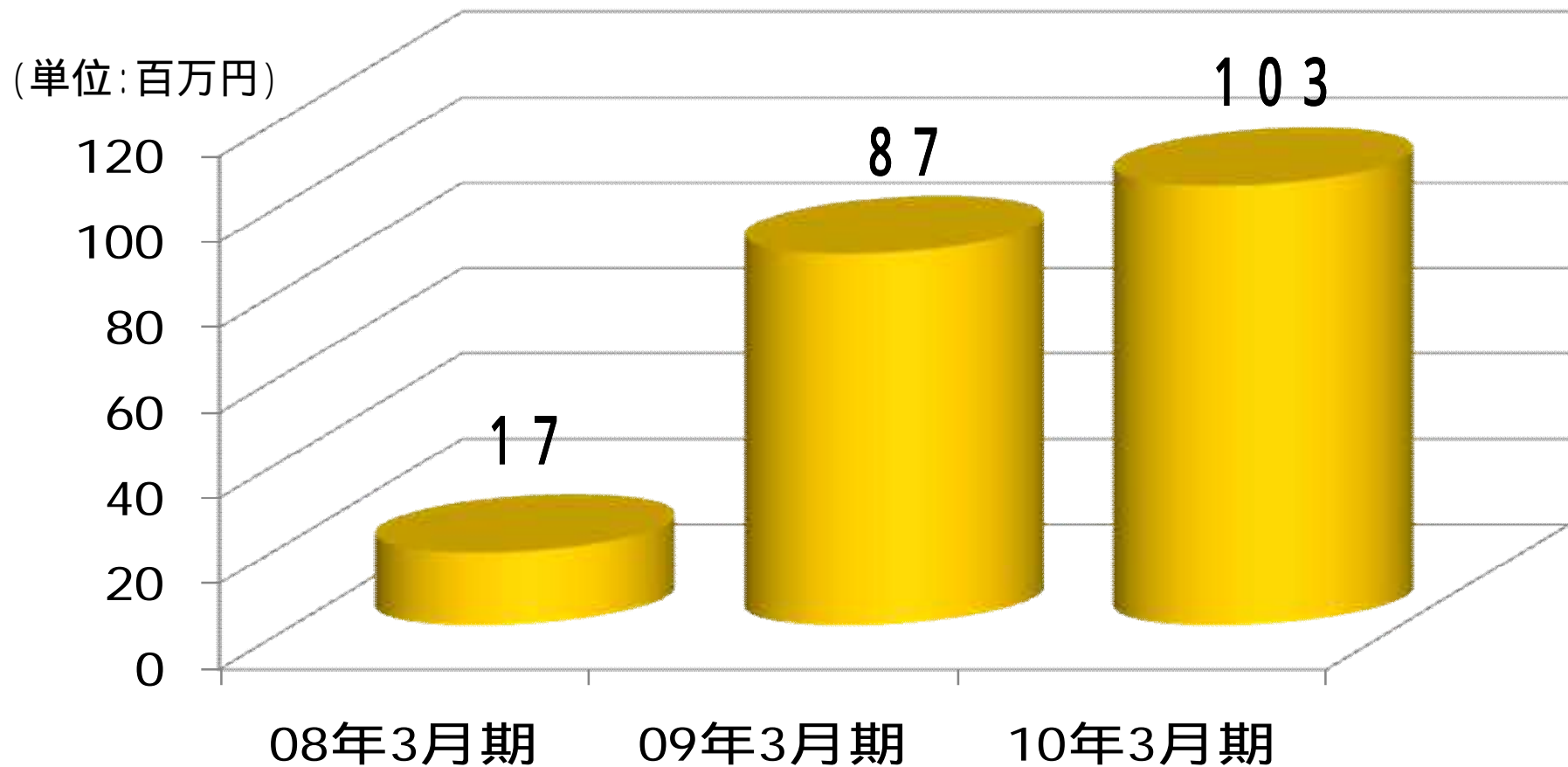


海外向け売上高推移(全体)



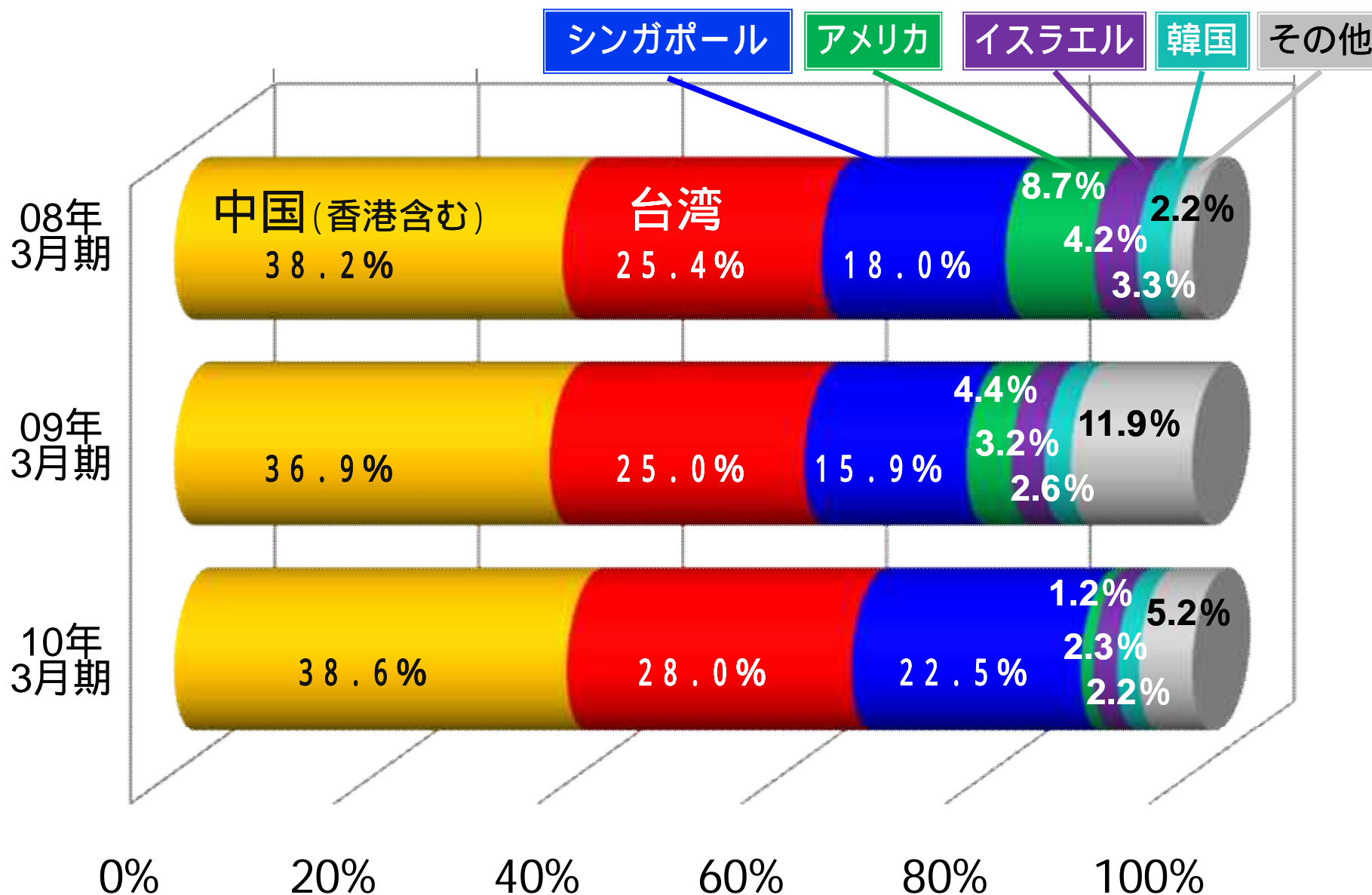
- ▶ 世界同時不況の影響で、全体的に落ち込む。
- ▶ 中国(本土のみ)は中でも、堅調に推移。

(ご参考) 海外向け売上高推移 (中国: 本土のみ)



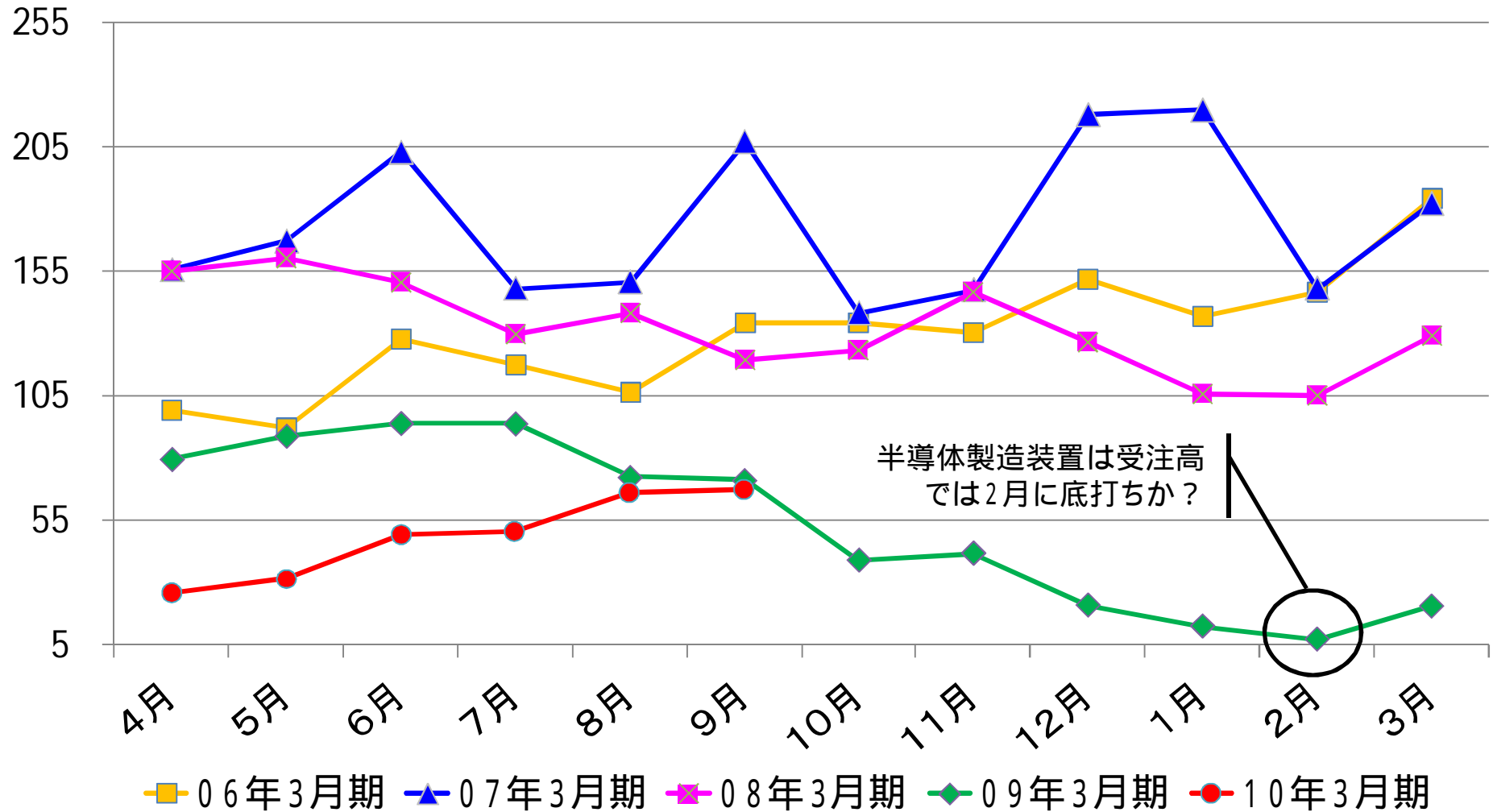
- 世界同時不況の影響で、全体的に落ち込む。
- 中国(本土のみ)は中でも、堅調に推移。

国別海外向け売上高構成比



(ご参考) 半導体製造装置(日本製)受注高推移

(単位:十億円)



(出典:日本半導体製造装置協会)

. 2010年3月期 下期の目標および施策

通期の目標

(単位:百万円)

	10年3月期 上期 累計予想	10年3月期 上期 累計実績	増減額	10年3月期 通期予想	10年3月期 下期 四半期予想
売上高	4,500	4,881	381	10,500	5,619
営業利益	210	141	69	250	109
経常利益	180	101	79	200	99
四半期純利益 (当期純利益)	210	137	73	250	113

2010年3月期 下期部門別売上構成

(単位:百万円)

	1Q実績	2Q実績	上期実績	下期予想
制御機器	915	1,107	2,022	2,500
FA機器	1,101	995	2,096	2,200
産業機器	309	454	763	920
	2,325	2,556	4,881	5,620

- 第2四半期から、一部の半導体関連企業に底打ち感が見られる。それら企業向けの制御機器、産業機器が上昇要因。制御機器は上期実績比で、24%増の25億円、産業機器は同じく20%増の9億円を見込む。
- FA機器については、ロボット、マウンター等において、急激な回復は望みにくいため、上期実績比微増の22億円を見込む。

目標達成に向けて

[営業部門]

新規需要創造の推進

環境対応商品の推進

商品開発

ミニ展示会の実施

[管理部門]

徹底したコスト削減

- ・ 広告宣伝費抑制、通信費の削減
など経費削減の推進

当社ホームページの改善

- ・ 商品紹介ページの充実
- ・ I Rサイトの充実

平成21年11月10日

本プレゼンテーション中の将来の見通しにつきましては、当社の判断によるものであり、経済情勢、市場動向、税制や諸制度の変更等により、大きく変化するものであります。

従いまして、その内容につきましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

また、本プレゼンテーションは、投資を勧める目的のものではございません。